①焼山浄水場跡

焼山浄水場は、昭和24年（1949）に建設されました。蛭根配水場から送られてきた工業水道に、ろ過・塩素消毒を行い、旧国道に布設された配水管から、土崎・寺内地区へ給水していました。今は役目を終え、一部の設備はほぼ当時の姿で現存しています。

②東門院跡

東門院は、京都聖護院（天台修験の本山）末寺で四天王寺に属し、古四王社の神宮寺（神社に付属して建てられた寺院や仏堂）として管理していました。佐竹氏支配の時に東門院は聖護院と縁を切り、真言宗に転化しました。明治になって、神仏分離の結果古四王神社として独立し、国幣小社に列せられました。

③旭さし木

推定樹齢約1,200年の巨木で、市内で1番古いと言われています。菅江真澄の「水のおもかげ」によると、昔この地域に住んでいた「旭」という長者の家の目印であったことから、この名前が付いたと言われています。明治19年（1886）の俵屋火事により、幹の一部が空洞化していますが、枯死を免れ徐々に樹勢を回復し、立派に葉を茂らせる生命力には驚かされます。昭和48年（1973）に市天然記念物に指定されました。

④高清水霊泉

7世紀中頃、越国（現北陸地方）守の阿倍比羅夫が高清水岡に越王（古四王）を祀ったところ、突如湧き出したといわれる霊泉で、地名「高清水」の由来となりました。古四王神社の御手水として使用され、かつては周囲の清流にサンショウウオが生息するほど澄んだ水で、古代の武将が飲み水として利用したともいわれます。（※現在は飲み水として使用できません。）霊泉の傍らには聖観音立像が安置されており、訪れた人々によって霊水が捧げられ、今も大切にされています。

⑤三吉神社遥拝殿

五輪坂（五輪の塔の北側）に建っています。戊辰の役の際、藩主義堯が赤沼の三吉神社に戦勝祈願をしたところ、霊験があり勝利したことから、秋田藩士中川伝也が土崎以北の住民の参詣の便を図り、明治4年（1871）この地に拝殿を建立しました。

秋田市
全域マップ
ブルーメッセあきた
昭和男鹿半島IC
旧奈良家住宅
県立博物館
秋田北IC
文化財イラストマップ
寺内地区編
太平山PA
補陀寺
天徳寺
秋田城跡
千秋公園
佐竹義堯
(久保田城跡)
秋田中央IC
旧黒澤家住宅
秋田南IC
明辺IC
秋田空港IC
秋田空港
秋田県農業公園
ポポロの理
秋田駅
ナイス
ジョイフル
ファミリーマート
ローソン
セブンイレブン
秋田ポートタワー
セリオン
秋田市役所
秋田県庁
秋田大学
秋田赤十字病院
秋田銀行
秋田信用金庫
秋田県信用組合
秋田県庁
秋田市役所
秋田県立
秋田県立
秋田県立

まちあるきの注意点

※個人住宅や敷地には立ち入らないでください。

- は、歴史の説明などが記されている標柱や碑を表します。
- は、石碑群を表します。
- は、神社を表します。
- は、標柱を表します。
- 秋田城跡政庁区画
- 秋田城跡外郭線
- 史跡秋田城跡指定境界線

史跡 秋田城跡

秋田城跡出土品収蔵庫

秋田城跡は、奈良時代から平安時代にわたって東北地方の日本海側（出羽国）に置かれた大規模な地方官庁の遺跡で、古代の政治・軍事・文化の中心地でした。

天平5年（733）に、山形県の庄内地方にあった出羽柵が「秋田村高清水岡」に遷され、天平宝字4年（760）頃に阿支太城（秋田城）と呼ばれるようになりました。

奈良時代には出羽国の政治を行なう「国府」が置かれ、津軽（つがる）（青森）・渡嶋（わたりしま）（北海道）のほか、大陸の渤海国（中国東北部）など、外交や対北方交易の拠点としても重要な役割を果たしていたと考えられています。

昭和14年に、遺跡の重要性が認められて国の史跡に指定されました。

復元された外郭東門と築地塀

このマップは、市民がまち歩きをして作成しました!

市民のみなさんに地域の文化財・文化施設をもっと身近に感じてもらいたいと、文化財イラストマップを作成しました。

マップ作成のためのワークショップでは、23名の市民のみなさんが実際にまちを歩いて情報を集めました。このマップには、ワークショップ参加者が注目したものやコメントなどを盛り込んであります。

このマップを持ってまちを歩き、地域の文化財・文化施設を楽しんでください。

秋田城跡調査事務所
◇秋田市寺内焼山9番6号　☎018-845-1837

秋田城跡出土品収蔵庫
◇秋田市寺内大畑4番1号　☎018-846-9595
◇開館時間　9:00～16:00（入館は15:30まで）
休 館 日　冬期間（12月1日～3月31日）
入 館 料　無　料

秋田市観光案内所（秋田駅構内） ……☎018-832-7941
（財）秋田観光コンベンション協会 ……☎018-824-8686

編集・発行：秋田市教育委員会 文化振興室
秋田市山王二丁目1番53号　山王21ビル4階
電話番号 018-866-2246　FAX番号 018-866-2252

協　　力：寺内地区市民憲章推進協議会 石井 護（第1回ワークショップ）
寺内地区町内連絡協議会 米田次男（第2回ワークショップ）

印　　刷：秋田活版印刷株式会社
イラスト：小西 由紀子
発 行 日：平成25年3月

寺内について

空素沼

寺内地区は、県庁や市役所などがある市街地と、中・近世に港町として栄えた土崎地区の中間にあります。

寺内の地名は、その昔、東門院をはじめ、妙覚寺、光明寺、大悲寺といった寺院の内側にあったところから付けられたといわれています。また、起伏の多い地形から“小高い丘陵地で清水の湧く所”という意味で「高清水の丘」と呼ばれています。

古くから枯れることなく湧き続ける高清水霊泉、木々に囲まれ神秘的な雰囲気がただよう空素沼、地域の人たちの生活を見守り続ける市内最古といわれる巨木の旭さし木など、豊かな水と緑に彩られた地域です。

また、現在も発掘調査が続く史跡秋田城跡や、長い歴史があり地元の人たちの守護神となっている古四王神社、紀行家として名高い菅江真澄が眠るお墓など、見どころいっぱいです。

旭さし木

高清水霊泉

寺内のお祭り ～古四王神社例祭～

毎年5月7日と8日の2日間、古四王神社のお祭りで寺内地区は賑わいます。

8日の例祭では、神様を迎えた神輿が神社を出て町内を廻ります。途中、御旅所と呼ばれる近くの昼寝山で一旦休憩し巫女神楽などの祭祀が行われた後、神職や氏子たちに守られながら神輿はさらに町内を練り歩きます。

巫女神楽

神輿行列の中では、氏子の持つ丈の長い糊付棒がひときわ目をひきます。糊付棒は、長さ約3m、太さ約9cmほどの杉の棒に、水に溶いた米の粉を塗り付けたもので、この米粉の粘り方や落ち方によってその年の豊凶が占われるというものです。

神輿行列が奏でるゆったりとした太鼓のリズムと、「ヤンヨーヤンヨー」という独特の掛け声が和やかに響く、古式ゆかしいお祭りです。

神輿行列

0　50　100　200m
※200mを歩くには約2.5分かかります。

秋田市教育委員会